

高浜 虚子

春風や闘志いだきて丘に立つ

風の百合とまらんとする蝶遠し

大いなるものが過ぎ行く野分かな

蟻の国の事知らず掃く箒かな

〈出典 『日本詩人全集2 正岡子規・高浜虚子』(新潮社、一九六九年)〉

【著者】高浜 虚子(たかはま きよし)

一八七四(明治七)年—一九五九(昭和三四)年

俳人、小説家。愛媛県の生まれ。

【著書】句集『五百句』、『俳諧師』、小説『虹』など